

「イノベーションを促進する仕組み」 の議論の内容・進め方(案)

平成24年9月13日
総合科学技術会議
科学技術イノベーション政策推進専門調査会

1. 背景等

- 第4期科学技術基本計画(以下「4期計画」という。)に記載されているシステム改革を効果的に実行するため、科学技術政策イノベーション政策推進専門調査会を中心に、これまで、「イノベーションを促進する仕組み」について審議。
- 第103回総合科学技術会議(平成24年7月30日)において、総理大臣から、「システム改革等イノベーション実現に必要な施策のあり方について、年末までに対応方針を取りまとめ」るよう、総合科学技術会議に対し指示。
- 年末頃の総合科学技術会議への提言に向け、本年12月20日の専門調査会において、イノベーションを促進するための仕組みに関する改革について提言をとりまとめる。

2. 仕組みに関する改革の目的

- 4期計画が指向する「科学技術イノベーション政策」は、科学技術の研究開発成果を社会的課題の解決に確実に結びつけていくことを重視している点が特徴。
独創的な研究成果を創出し、発展させて新たな価値創造に繋げることも重要。
- これらを踏まえ、政府は研究開発が実際に社会的課題の解決に結び付くような規制・制度の改革や研究成果の創出と導入を促進するための改革を実行することが不可欠。

3. 仕組みに関する改革の検討内容

➤ 以下の3つの内容及びそれぞれの原案検討主体が考えられる。

内 容	検討主体
①科学技術イノベーション政策の実効的運営のための改革 科学技術イノベーション政策を実効的に運営するため、政府の政策の立案、実行、評価及び改善の各段階における改革並びに総合科学技術会議の役割及び運営の改革	科学技術イノベーション政策推進専門調査会
②科学技術イノベーション推進のための改革 科学技術重要施策アクションプランに掲げる政策課題や重点的取組の目的を達成し、社会的課題を解決に実際に繋げるために取り組むべき改革	科学技術イノベーション戦略協議会
③基礎研究及び人材育成の強化のための改革 独創的な研究成果を創出し、発展させて新たな価値創造に繋げるための改革	基礎研究及び人材育成部会

4. 仕組みに関する改革の取りまとめの構成

➤ 仕組みに関する改革の取りまとめの構成は以下のとおり。

構 成	検討主体
I . 科学技術イノベーション政策の実効的運営 のための仕組み改革	科学技術イノベーション政策推進 専門調査会
II . 科学技術イノベーション推進のための改革 (1)復興・再生 (2)グリーンイノベーション (3)ライフィイノベーション	科学技術 イノベーション 戦略協議会
III . 基礎研究及び人材育成の強化のため改革	基礎研究及び 人材育成部会

5. 今後の本専門調査会のスケジュール・議題

➤ 今後の本専門調査会のスケジュール・議題は以下のとおり。

日付	議題
10月12日	①科学技術イノベーション政策の実効的運営のための改革 ②科学技術イノベーション推進のための改革 ③基礎研究及び人材育成の強化のための改革
11月19日	同上
12月20日	取りまとめ